

コスト削減ツールとしての 「コスト分析」セミナー

～ コスト分析は「コスト査定ツール」ではなく「コスト削減」ツール ～

開催日時 **2026年 6月24日(水)** **オンライン**
2026年12月10日(木) **オンライン** 各回とも 10:00～17:00

対象 コスト削減・VA(VE)担当者および機械加工部品（以下、「部品」と記述）の単価決定、コストテーブル作成を担当する皆さん。また、これらの業務の管理者の皆さん。

講師 **山藤 順氏**
Strategy and Operations研究所
代表

参加料(税込) 法人会員：64,350円/1名
会員外：77,000円/1名

※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのポイント

図面を提示して製作依頼する部品は「原価主義（発生コスト＋利益＝価格）」で価格決定されるのが一般的で、「コスト分析」はこのような部品のコスト分析技術として発展してきたものです。しかし、コスト分析の目的が「適切な価格査定を行う」という狭い領域にとらわれがちで、結果として「コスト削減効果が得られない」「コストテーブルは作ったが活かされていない」「コストテーブルのメンテナンスができていない」といった状況に陥っている企業が多いようです。

本セミナーでは、「コスト削減につなげるバイヤーの知恵・工夫を盛込む」ということを事例をあげて解説します。

参加者の声

- ・サプライヤーと一緒に考えていくコスト削減の方法がとても勉強になりました。
- ・本来の調達担当者のあるべき姿を再認識できました。
- ・受講者全員に質問を投げかけていただき、集中して受講できたうえに、個別の悩みにも回答いただけて満足です。
- ・コストテーブルの活用方法が参考になった。実際に試行錯誤された経験なので共感できます。

受講者の皆さんへ

受講者が使用している数値の入った見積書をご用意ください。
セミナー効果を高めるため、見積書を参照しながら解説を聞いてください。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 コスト分析とバイヤーの知恵・工夫

「適正コストを把握したい」「適切なコスト査定を行いたい」のみならず、コスト削減の視点を持って、「バイヤーの知恵・工夫を活かすコスト分析」をどのように進めるかを解説します。

【キー・イシュー】 コスト分析の目的／見積明細を必要とする理由

2 コスト分析の得手、不得手

多岐にわたる調達品において、本セミナーの「コスト分析」は万能ではありません。その限界を知り、不得手領域ではどうアプローチするのかを解説します。

【キー・イシュー】 一般的な価格の査定方法／マクロなコスト分析法（金型、ソフトウェアの場合）

3 部品コストの構成要素

コスト構成要素を踏まえ、見積書に必要な項目は何かを解説します。

【キー・イシュー】 コスト構成要素／見積書の一般的構成／見積書サンプル

4 部品コストの分析手順

コスト構成要素ごとに分析の手順・方法を解説します。

【キー・イシュー】 材料費の分析／加工費の分析／加工費率の分析／加工時間の分析／管理費・利益の分析

5 実践的コストテーブルの考え方

コストテーブルは、作成に時間が掛かる・タイムリーにメンテナンスができない・せっかく作ったコストテーブルが単価決定の現場で生かされていない、ということはないでしょうか。これらの原因を認識し、実用上の精度は維持しながら、バイヤーの知恵・工夫を活かせ、メンテナンスが容易なコストテーブルを解説します。

【キー・イシュー】 コストテーブルが使われない理由／これがベターなコストテーブル

6 コスト削減につなげる知恵・工夫

価格査定のプロセスで、「コスト削減につなげるバイヤーの知恵・工夫」の事例を演習します。併せて、コスト分析の手順を、いくつかの計算演習を通じて理解を深めて頂きます。

【キー・イシュー】 プレス部品コスト分析／射出成型部品コスト分析／段ボールシート加工品価格査定とコスト削減活動

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

